

道徳通信④

平成 29 年 3 月 10 日

道徳教育推進委員会
(安芸太田町立筒賀小学校・安芸太田町立筒賀中学校)
文責：道徳教育推進リーダー教師 福田祐子

1年間の学びを振り返って

学年末を迎え、筒賀小・中学校の各学年とも最終の道徳の時間に取り組んでいます。いよいよ3月17日（金）PTAの日の中学1年生の道徳の時間が、今年度最後の道徳の時間の授業となります。筒賀小・中学校の保護者の皆様、ご都合がつかれましたら、ぜひご参観ください。皆様の道徳教育の取組に対するご意見やご感想が頂戴できれば幸いです。



保護者の皆様には、道徳参観や授業後の道徳懇談会へ多数のご参加をいただき、誠にありがとうございました。1年間、児童生徒はそれぞれの道徳の時間のねらいとする道徳的価値に、真剣に向き合ってきました。各学年とも、最後の道徳の時間に1年間の振り返りの時間を設けています。すでに、振り返りを行った学年では、児童生徒が自分たちの学んだ教材を懐かしそうに読む姿や振り返りをもとに自分の思いを語り合う姿が見られ、とても微笑ましかったです。

<この1年間の学びについて、各学級での振り返りをご紹介します。>

小学1年生

心に残った教材名：「いのちがあってよかった」「ほしの ふる もり」

道徳の時間で好きな活動：

- ・人の気持ちや思っていることを考えるのが楽しかった。
- ・みんなといっしょに意見を聞いたり、意見を出したりするのが楽しかった。
- ・自分の考えを書くのが楽しかった。
- ・紙芝居を聞くのが楽しかった。

1年間で自分の意見が
しっかり言えるよう
になりました。



小学2年生

心に残った教材名：「ぼくは『のび太』でした～藤子・F・不二雄」「だってお兄ちゃんだもん」「かいもの」「たんじょう日」「きいろいベンチ」

道徳の時間で好きな活動：

- ・自分の考えを書くこと
- ・自分の意見を言うこと
- ・先生がツッコミを入れてくれて、それについて考えること。

授業者が児童の考えを深めるための質問を行い、児童はそれについて考えることを楽しんでいました。



小学3・4年生

心に残った教材名：「ぼくたち 手つだいます」

道徳の時間で好きな活動：

- ・自分の気持ちが言えること。
- ・友だちの気持ちを聞いて、分かり合えること。
- ・自分の気持ちを書くこと。

圧倒的に人気のあった教材です。
理由は、主人公が自分の買ったかった釣りざおをあきらめて、目の前で困っているおじいさんを助けてあげたお話がいいなあと思ったからということでした。



小学5・6年生

心に残った教材名：「命がないと始まん」

道徳の時間で好きな活動：

- ・いろいろ出た意見をみんなでまとめること。
- ・みんなの意見を聞くこと。
- ・自分の考えと相手の考えを比べて発表すること。
- ・物語の登場人物の気持ちになりきって考えを書くこと。

「命」がテーマの教材をたくさん挙げていました。重いテーマだけに、しっかりと考え、心に残ったようです。



中学1年生

心に残った教材名：「春のうららの声変わり」「ふたりの子供たちへ」

「アイツの選択」「いのちをいただく」

「先輩になるということ」

道徳の時間で好きな活動：

- ・質問したり、質問されたりして意見を一つにまとめること。
- ・みんなのいろいろな意見を聞くこと。
- ・教材を読むこと。

中学1年生は、生徒それぞれ違う教材が心に残りました。



中学2年生

心に残った教材名：「人間であることの美しさ」「365×14回分のありがとう」「国」

道徳の時間で好きな活動：

- ・普段考えたことのないことを改めて考えること。
- ・人の考えや思いを聞き、自分と比較できること。
- ・新しい自分の考えや思いなど（新しい価値観）ができること。

スポーツ選手を扱った教材が特に心に残りました。



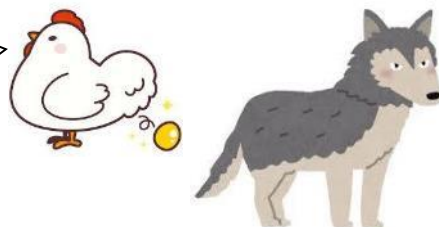
たんぽぽ学級

たんぽぽ学級では、心の成長をテーマに、イソップ物語の読み聞かせを行い、その内容について感じたこと、考えたことの語り合いに取り組みました。

2人の好きなイソップ物語は「金の卵を生むメンドリ」「うそつき子ども」でした。

生徒の感想：

よくばりはいけないと思った。



生徒の感想：

うそをついて、みんなを困らせるのはいけないと思った。



分かったことや自分の考えを積極的に発言している姿が、とても印象的でした。



道徳アンケートの結果より

本中学校区の重点内容項目について、4月と12月に児童生徒対象の道徳アンケートを行いました。

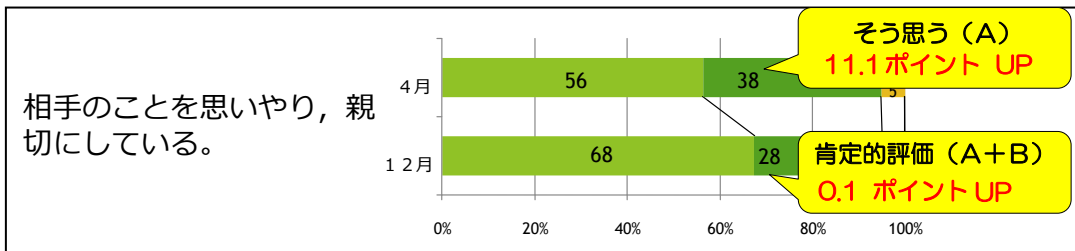
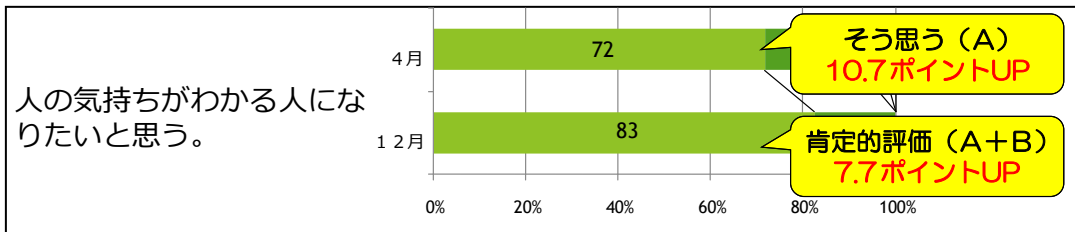
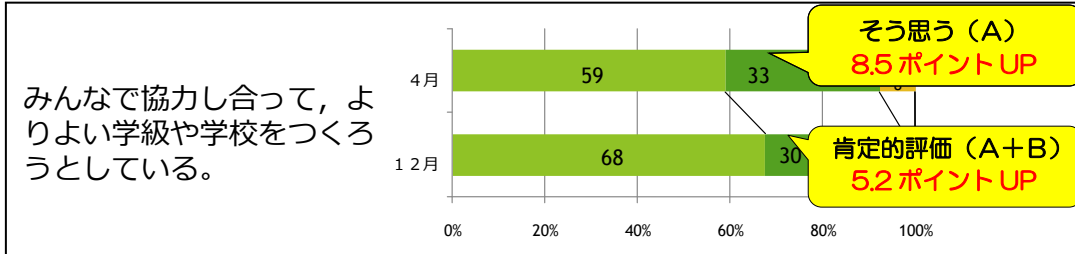
12月のアンケート結果には、4月と比較して全項目において肯定的評価の割合が増えました。

特に、「評価A：そう思う」のポイント数が向上しました。

児童生徒の道徳的な価値観や心情の深まりが見られると思います。

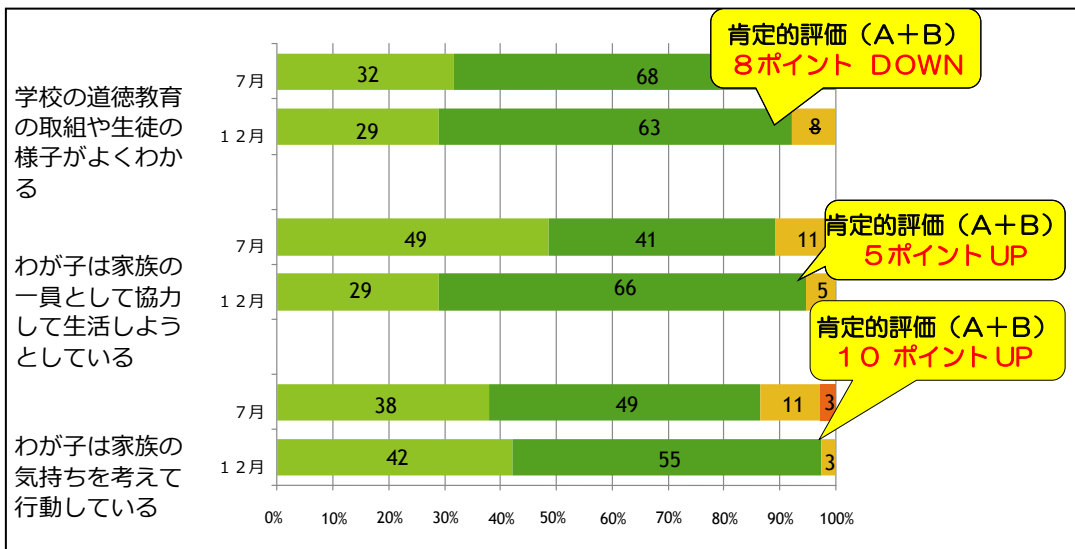
評価A：そう思う
 評価B：どちらかといえば、そう思う
 評価C：どちらかといえば、そう思わない
 評価D：そう思わない

評価A ■ 評価B ■ 評価C ■ 評価D ■



保護者の皆様には2回のアンケートにご協力をいただきありがとうございました。保護者アンケートも全般的に肯定的評価の割合が増え、特に児童生徒の家族一員としての協力性や家族の気持ちを考えるに関する項目の肯定的評価が向上しています。児童生徒の家庭における道徳性の発揮が見られるように思います。「学校の道徳教育の取組や生徒の様子がよくわかる」については、肯定的評価の減少が見られます。保護者への情報発信や啓発の仕方の改善・充実という課題が残りました。

評価A ■ 評価B ■ 評価C ■ 評価D ■



保護者アンケートでの「家庭の中で家族の気持ちを考えて行動している」の肯定的評価が増えたにもかかわらず、児童生徒アンケートの「相手のことを思いやり、親切にしている」での肯定的評価に変化がありませんでした。児童生徒の思いやりのある行動に対する、教師からの肯定的評価や児童生徒自身に自覚させる指導が十分でなかったのではないかと考えます。

今後、児童生徒の行動の様子の確実な把握や評価をより明確に行っていきたいと考えます。また、道徳教育の取組について保護者の皆様に分かりやすくお伝えするよう努めていきたいと思います。

保護者のみなさま

1年間、道徳教育の充実・改善の取組に対するご理解とご協力ありがとうございました。

